



四谷一丁目南地区沿道

まちづくりリニューース 第4号

平成 28 年 11 月

「まちづくりの方向性」を取りまとめていきます！

第4回まちづくり協議会では、四谷一丁目南地区沿道エリアをどういうまちにしていきたいか、皆様と意見交換したいと思います。そのご意見を踏まえて、「まちづくりの方向性」を取りまとめる予定です。ご多忙とは存じますが、ご参加をお願い申し上げます。

なお、裏面に「第3回四谷一丁目南地区沿道まちづくり協議会」の概要を掲載しております。

【進め方】

平成 28 年度

特性・課題の再整理

まちづくりの方向性
(将来像)の検討

とりまとめ

平成 29 年度～

まちづくりの方向性の
実現に向けたルール作成

お気軽にご参加下さい！

第4回 四谷一丁目南地区沿道 まちづくり協議会

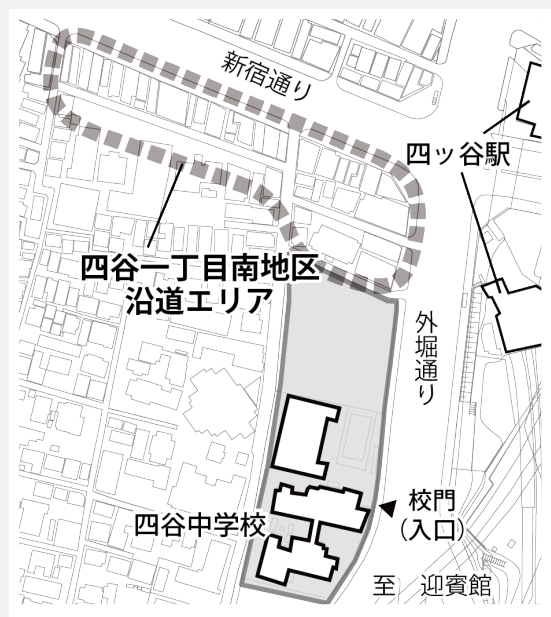
【開催日時・場所】

日時：平成28年 11月21日(月)
19:00～

場所：四谷中学校1階コミュニティルーム

【主な議題】

- ・ 地区の現状、アンケート結果（ふりかえり）
- ・ まちづくりの方向性について
- ・ ご意見集め など





第3回まちづくり協議会の概要

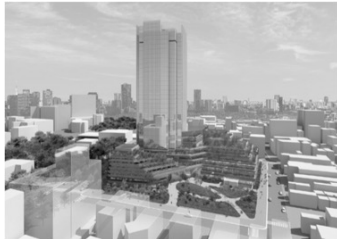


1. これまでのまちづくりの経緯や地区の課題、特性を改めて共有しました。

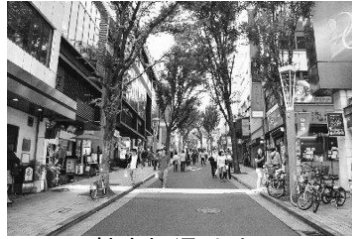
日時：平成28年7月4日（月）19：00～
場所：四谷中学校1階コミュニティルーム
参加者：10名

2. まちづくりの事例紹介を行いました。

- 都市計画・地区計画について
- 地区計画の活用事例
 - ・市街地再開発事業（四谷駅前地区、西富久地区、虎ノ門駅前地区）
 - ・一般型地区計画（神楽坂通り地区）
 - ・街並み誘導型地区計画（四谷一丁目北地区）



四谷駅前地区



神楽坂通り地区



四谷一丁目北地区

3. 意見交換を行いました。

【まちづくりの事例について】

- 四谷駅前地区では、再開発協議会が設立して、市街地再開発事業の都市計画決定に至るまで7年ほど時間かかった理由が知りたい。

区) そもそも市街地再開発事業の都市計画決定にはかなりの時間を要する。特に、四谷駅前地区では、新宿区と財務省が土地を保有していたため、再開発事業を行う際に、まちをどのような方向にしていくなのか、どういった機能・用途を入れていくなのかなど様々な議論を行う必要があり、決定に時間がかかった。また、西新宿のように周りに高い建物が多い地区とは異なり、四谷駅前地区は密集した住宅街が近くにあることから、新しく高層ビルを建てようとした場合の影響が大きかった。こういった事柄をひとつひとつ整理し、合意を得る必要があったため、時間がかかった。

【今後の進め方について】

- 再開発検討会という組織が立ち上がった。再開発検討会でも将来像について話し合っていくことになる。情報交換をしていきながら、まちの方向性は最終的にひとつにできるといいと思っている。

区) 再開発にご興味があり、勉強会や検討会を開催している動きがあることは把握している。当協議会としては、四谷一丁目南地区沿道をどうしていくかというまちの将来像をしっかりと描き共有していきたいと考えている。



お問い合わせ先

四谷一丁目南地区沿道まちづくり協議会 事務局

新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課
(担当：仁瓶・片野・竹島)

電話：03-5273-3843 ファックス：03-3209-9227

メール：keikan@city.shinjuku.lg.jp

※当まちづくりニュースは、対象区域内の不動産登記簿（H27.10末時点）に記載されている土地所有者・建物所有者の方、事業営業者、居住者の方を対象にお送りしています。